

安全データシート

改訂日: 2021年8月4日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

セバコイルクロリド

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

CD0028

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性

金属腐食性: 区分1

急性毒性(経口): 区分4

急性毒性(経皮): 区分2

皮膚腐食性/刺激性: 区分1

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

金属腐食のおそれ

飲込むと有害のおそれ

飲込むと有害のおそれ

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

【安全対策】

他の容器に移し替えないこと。

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

眼/皮膚/衣類につけないこと。

取扱い後はよく手と眼を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

物的被害を防止する為にも流出したものを吸収すること。

飲込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医者に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

【保管】

耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

注意書き

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

濃度又は濃度範囲(含有率)

化学品

セバコイルクロリド

セバシン酸クロリド、セバシルクロリド

 $\text{ClCO}(\text{CH}_2)_8\text{COCl}$

CAS RN: 111-19-3

95%以上

官報公示整理番号(化審法/安衛法) その他	(2)-2616 HSコード: 2917.19
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ／取り除く。皮膚を流水／シャワーで洗う。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	水でうがいをさせ、水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	水
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
	容器が熱に晒されているときは移動しない。
	安全に対処できるなら着火源を除去すること。
	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに全ての方向に、適切な距離を漏洩区域として隔離する。
	関係者の立ち入りを禁止する。
	処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性材料(例えば乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学用廃棄容器に入れる。
二次災害の防止策	全ての着火源を速やかに取り除く。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	消防法の規制に従う。
(局所排気、全体排気)	局所排気または全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	炎や高温のものから遠ざけること。
	適切な保護具を着用すること。
接触回避	水、アルコール、酸化剤、強塩基
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	取扱い後は手などをよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、涼しく換気の良いところに保管する。湿気に注意する。
	消防法の規制に従う。
安全な容器包装材料	ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(出典)	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	呼吸器用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	呼吸器用保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色
臭い	該当情報なし。
融点・凝固点	-2℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	168℃

可燃性		該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		該当情報なし。
引火点		113℃ (密閉式)
自然発火温度		該当情報なし。
分解温度		該当情報なし。
pH		該当情報なし。
動粘性率(粘度)		該当情報なし。
溶解度		分解する(水, 20℃)
n-オクタノール/水分配係数		該当情報なし。
蒸気圧		該当情報なし。
密度及び/又は相対密度		1.12
相対ガス密度		該当情報なし。
蒸発速度		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
反応性、化学的安定性		通常の取扱いにて安定。
危険有害反応可能性		水との接触で有害なガスを発生する。
避けるべき条件		湿気、混触危険物質との接触
混触危険物質		水、アルコール、酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物		塩化水素
11. 有害性情報		
急性毒性	経口:	LD50-ラット 400mg/kg (区分4)
	経皮:	LD50-モルモット 56mg/kg (区分2)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		EU-Annex I でR34に分類されている為、腐食性物質と考えられる。(区分1)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		皮膚腐食性物質であり、重篤な眼の損傷を与える物質と考えられる。(区分1)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。
	長期: (慢性)	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		3265
品名(国連輸送名)		腐食性液体(酸性、有機物)
国連分類		クラス8(腐食性物質)
容器等級		該当しない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法(第4類物質)
海上輸送		船舶安全法(腐食性物質)
航空輸送		航空法(腐食性物質)
応急措置指針番号		153

15. 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
消防法
船舶安全法
航空法

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
危険物第4類第3石油類非水溶性(危険等級Ⅲ)
腐食性物質
腐食性物質

16. その他の情報

参考文献

The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vol.3
GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会)
GHSの挑戦(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。